



# TWEET

## イクメンの育て方を尋ねられて考えた

私から夫さんをお願いしている事一つ。

「私を笑顔でおらせてね。」

これが基本。

私が笑顔やと、子どもに優しくできるから

子どもも笑顔で過ごせるで。

私を笑顔でおらせてくれたら

夫さんに感謝して、尊敬する。

料理がんばるし、笑顔で釣りいっておいでって言うてあげれるで。

そしたら、家族みんなハッピーやん！

ということで、私が笑顔であるように日々頑張ってくれてる夫さん。

もし、子どもと私が泣いてたら、先に私を慰めて、笑顔にして。

そしたら私、笑顔で子どもあやすから。

今では私が限界寸前つぶれそうになったら、

私を一人にさせる夫さん。

ドライブ？ショッピング？ネイル？寝てもいいし！

ご飯今日は弁当食べよう！木の实や買ってこよか！子どもらキューピー(レトルト)食べたらあかん？

貴重すぎる自由時間過ごしたら、笑顔になるしかないやん。

日々の生活の中でも仕事、家のこと、子どものこと精一杯してくれてる夫さんに質問してみました。

私「ねーなんで、いつも頑張ってくれるん？よその旦那さんそんなに色々やってないと思うで？」

夫さん「よそはよそ！うちがうち！よそやってなかったら、俺やらんでええんか？」

私「ダメです困ります…でも何でそんなにやってくれるんかなあって。」

夫さん「だって、こんな大変なこと。俺もやらな、あなた潰れてしまうやろ？」

そしたら、家族みんな潰れてしまうやろ？俺の家族守らなあかんやん？」

と、いう返事でした。

へー！目からウロコ。

世の言うイクメンを私が育てたのではなく、

私と夫さんが共同作業で家庭を作っていく上で出来上がった者でした。

現代は核家族化。親族が近くにいない、近所付き合いも少なく、頼れる人がいない。

多くの育児は、孤独な環境にあります。

頼れるのは夫だけ。話し相手も夫だけ。そんな人も少なくありません。

男は仕事のみががんばる、亭主闖白時代を生きた方達は今、熟年離婚ブーム到来中。

イクメンという言葉は、

大切な家族を守る父親の新しい呼び名の一つなんかなあと思います。

でも、仕事が忙しくて忙しくて家事や育児への参加が難しい夫さんだって

「家族を守る」ということをされてる方は立派な父親です。

ただ単に子どもの面倒みる、だけが素敵父親イクメンではないですから。

ただ、育児はやっぱり理屈でなく大変で、日々感情もふりまわされればなしで

沢山夫さんに手伝って貰っても、それでも精一杯の私。

そんな私達の救世主。社会地域に子育てサポート、一時保育などがあるんですね。

本当にぐるんばさんには毎日感謝です。

夫婦、家庭だけでは補えない事、解決できない事

地域社会に手助けしてもらって

お母さん笑顔で育児して

子ども笑顔で

夫ご機嫌で

家庭円満！

本当最高ですね！

ぐるんばさんと、ここで出会ってくれた皆様に感謝感謝しながら

また更に夫さんに感謝の気持ちを伝え

私の笑顔が夫さんにとってご褒美であるような妻目指して適当にがんばります。

S. O

このコーナーはぐるんばママの「つぶやき」を随時掲載します。お楽しみに！投稿も大歓迎です！